



家訓（大切にしているもの）は何？

朝夕の風がひんやりと肌を感じられるようになってきました。木々が色づき始め、少しずつ秋の深まりを感じる10月です。9月10日に行われた参観日ではたいへんお世話になりました。

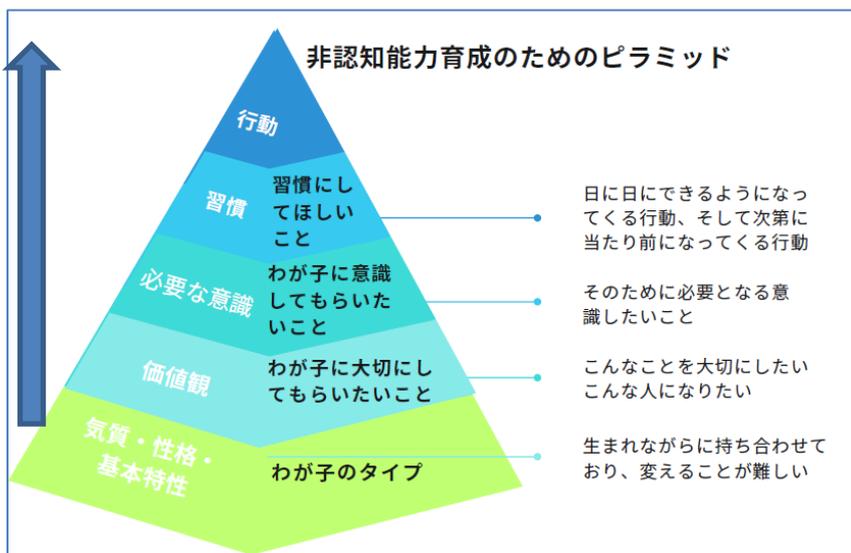
その中のPTA人権研修会では、昨年度に引き続き、中山芳一先生をお招きし、「非認知能力を育てること」についてお話いただきました。次のような内容でした。

- 多面的・多角的視点で考え経験重視の入試の改変、AIとパートナーになっていくことが求められる時代。
- 「非認知能力」は、「自分と向き合う力」「自分を高める力」「他者とつながる力」と分けて考えるととらえやすい。
- 9・10歳の境があり、9歳以前は、気質として生まれもったものに影響されやすい。変えられないことを叱るよりは、肯定して伸ばした方がよい。
- 10歳以降は、論理的思考が成長するので、本人の意識を高めていくことが鍵になる
- 大切にしたいこと 大切にしてもらいたいこと（家訓）は何か。我が子に意識してもらいたいことは何か。
- ポジティブ3、（ネガティブ1）の言葉がけの重要性。

ウィリアムジェームスの言葉

意識が変われば 行動が変わる
 行動が変われば 習慣が変わる
 習慣が変われば 人格が変わる
 人格が変われば 運命が変わる

今年の講演会も、保護者の皆様にとっても非常に有意義な時間となったようです。ある保護者の方が、「昨年の



講演を聴いて以来、非認知能力という言葉を目にする機会が増え、今の時代に必要とされる育てていくべき力だと感じます。非認知能力＝心 といわれていたけど、いろいろな経験や体験を通して自分で感じたことを大切にしていけるように子育てをしたいなと思いました。・・・と感想を書かれていました。他にもすばらしい感想をたくさんお寄せいただきました。非認知能力の大切さを再認識し、日常の子育てを振り返る良い機会となったようです。

三石小学校では、日々の授業や行事の中

で「やるぞ」「あきらめない」「友達のすてきを見つけよう」という意識を大切にしています。これらは、「意欲」

「忍耐力」「共感性」という非認知能力ですが、自分自身でのふりかえりを中心にしながら、教職員もそのような場面を見つけたらフィードバックしています。非認知能力を伸ばすことは、教育の重要な柱であり、子どもたちが自分の力を信じて成長できるよう、日々努めていきます。子どもたちが未来に向かって力強く羽ばたいていけるよう、学校全体でその基盤作りを進めていますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。





10月の行事予定

日	曜	主な行事
2	水	5年 校外学習：さん太新聞館 (5年弁当持参)
3	木	縦割り班遊び
4	金	視力検査 6年 太鼓教室
7	月	朝会 委員会活動(5・6年)
8	火	6年 備前市学童陸上運動記録会 (6年弁当持参)
10	木	就学時健康診断(歯科・内科)
14	月	スポーツの日
15	火	6年 備前市学童陸上記録会予備日 (6年弁当持参)
16	水	4年 校外学習：閑谷学校 (4年弁当持参)
17	木	就学時健康診断(視力等)
18	金	6年 太鼓教室
19	土	三石地区文化祭
20	日	三石地区文化祭
21	月	クラブ活動
22	火	1~2年・6年 歯科検診
25	金	6年 修学旅行
26	土	6年 修学旅行
28	月	6年 振替休業日 1~5年 一斉下校14:55
29	火	3~5年 歯科検診
31	木	ロング昼休み

芸術の秋です

子どもたちの作品が、次のとおり展示されます。今年は、地域の方のご厚意で、三石文化祭に子どもたちの備前焼作品を展示することになりました。

秋のひとつときに、子どもたちの力のかもった作品を鑑賞に行ってみてください。

○三石地区文化祭

10月19日(土) 9:00~17:00

10月20日(日) 9:00~15:00

場所：三石公民館

※備前焼は、通常の作品とは別の部屋に展示する予定です。ご注意ください。

備前市の文化を感じて

三石小学校では、地域の文化に触れる機会をたくさんもっていきたいと考えています。三石の文化や伝統はもとより、備前市の誇る日本遺産にも触れる活動を行っています。

○閑谷学校

4年生が10月に講堂学習を行います。論語をみんなで唱えます。

○備前焼

毎年7月に難波先生をお迎えして全ての学年で備前焼体験をします。例年、10月の「岡山県子ども備前焼作品展」に出品しています。本年度は、その作品展が行われない代わりに、三石文化祭に出品・展示します。

○北前船の寄港地

11月に3年生が大多府島に行って元禄防波堤などを見学します。

日本遺産以外にも、備前市には素晴らしいものがたくさんあります。子どもたちに、ひとつでも多く伝えられたらと思っています。